山北町第2期総合戦略　先駆的事業　令和5年度評価表

資料1

1　観光資源活用事業		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
KPI	遊歩道・観瀑台の整備（５ヶ年累計）	ヶ所	0	0	0	1	1	1	100%	商工観光課
	ＳＵＰ出艇数	艇	―	550	1, 350	1, 329	1, 580	1, 400	113%	商工観光課

事業の展望・展開

・洒水の滝遊歩道・観瀑台の整備とＰＲの実施

・ＳＵＰ等の推進のための環境整備と観光振興の推進

・ＳＵＰ等講習会の開催

・ＳＵＰ等を活用した滞在型旅行商品の企画・開発支援

・ＳＵＰ等の指導者の確保育成を図るとともに、各ＳＵＰ等団体との交流を推進

・森のおもてなしガイドによる案内や、外国語ガイド用タブレット及び外国語版パンフレットによる外国人の森林セラピー体験やＳＮＳを利用した森林セラピー紹介

所見

（商工観光課）
　令和４年度に地方創生推進交付金（県西地域活性化プロジェクト関係）を活用して作成した動画やチラシを活用するとともに、洒水の滝駐車場に設置している大型看板を改修し、洒水の滝のＰＲに努めている。
　ＳＵＰによる新規来訪者数が年々伸びているが、更なるリピーターの確保に向けた対策を実施するとともに、指導者の確保育成に向けた対策について検討を行っている。

2　地域公共交通網の形成事業		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
KPI	公共交通対策に関する計画の策定（５ヶ年累計）	計画	0	0	0	0	1	1	100%	企画総務課

事業の展望・展開

・庁内会議（ＷＧ）の開催

・先進地視察・事例調査

・現状分析・調査、事業者ヒアリング

・新規循環バス路線の検討

・オンデマンド交通等の新たな交通体系の導入

所見

（企画総務課）
　地域公共交通網の形成事業
　令和4年度に設置した「山北町地域公共交通会議」において、町の公共交通のマスタープランである「山北町地域公共交通計画」を策定した。今後は、この計画に基づき町の地域公共交通にかかる施策・事業の検討を進め、町民が移動に困らないまちづくりを進めていく。

3　ＳＤＧｓ推進事業		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
KPI	町有施設への木質バイオマスボイラーの設置（※）（５ヶ年累計）	ヶ所	0	0	0	0	0	1	0%	環境課
	マイクロ水力発電設備の設置（※）（５ヶ年累計）	ヶ所	0	0	0	0	0	1	0%	環境課

事業の展望・展開

・ＳＤＧｓの実現に向けた普及啓発活動の推進

・（仮称）山北町再生可能エネルギー計画に基づき、町内全域に再生可能エネルギーの導入・促進、地球温暖化対策の推進

・気候変動適応計画に基づく地球温暖化対策の推進

・木質バイオマスの導入

・マイクロ水力発電の導入

所見

（環境課）
　再生可能エネルギーに関する関係課による意見交換会を実施し、マイクロ水力発電やEV用急速充電器の導入等について、情報共有や課題整理を行った。
パークゴルフ場へのマイクロ水力発電施設について、本体の設置工事を実施した。配線等の整備は令和６年度に実施予定。
EV用急速充電器について、役場駐車場に１基設置をした。令和６年度に供用開始予定。

※　先駆的事業に数値目標を掲げている項目。

4　Ｄ５２奇跡の復活事業（第２期）		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
ＫＰＩ	軌道延伸延長（５ヶ年累計）	m	0	0	0	0	0	25	0%	都市整備課
	運転講習会の開催	回	0	0	0	0	0	4	0%	商工観光課
	運転講習会受講者数	人	0	0	0	0	0	10	0%	商工観光課

事業の展望・展開

・軌道敷の延伸（25m程度）
・鉄道資料館を拠点とした蒸気機関車に関する情報の発信
・町内の小学生を対象に学習教材として活用、「鉄道の町として栄えた」ことを伝承
・鉄道資料館にＤ５２運転技能習得のためＶＲ（バーチャルリアリティ）機器を設置
・蒸気機関車の有料乗車運行の実施
・事業の担い手としては地域のＮＰＯ団体

所見

（都市整備課）
軌道延伸延長：工事費の予算化がされなかったため、軌道延伸延長ができなかった。

分析

◆評価80%以上：３　◆評価50%以上～80%未満：０　◆評価50%未満：５　◆評価なし：０

進捗状況の判断基準
目標値に対する割合

先駆的事業　各項目の説明

資料1（別紙）

1　観光資源活用事業	
① 遊歩道・観瀑台の整備	洒水の滝遊歩道及び観瀑台の整備を行う。（令和4年度整備完了）
② SUP出艇数	第2期総合戦略策定当初は講習会を想定していたが、一歩進み事業実施がメインになっているため、令和4年度に施策を変更した。三保地域を代表する観光資源である丹沢湖を活用し、滞在時間を延ばす取り組みとして、SUP（スタンド・アップ・パドルボートの略） の推進を図る。（目標値を達成）
2　地域公共交通網の形成事業	
③ 公共交通対策に関する計画の策定	地域公共交通の現状と課題を整理し、周辺自治体等との広域連携を視野に入れた交通利便性の向上を図る。（令和5年度計画策定）
3　SDGs推進事業	
④ 町有施設への木質バイオマスボイラーの設置	SDGs推進事業として、町有施設を対象とした木質バイオマスの導入を図る。
⑤ マイクロ水力発電設備の設置	民間事業者と連携したマイクロ水力発電の導入を図る。
4　D52奇跡の復活事業（第2期）	
⑥ 軌道延伸延長	機関車の操縦において、短い距離を移動するには熟練の運転技術が必要になるため、軌道敷を延長し必要な運転技術を緩和する。
⑦ 運転講習会の開催	一般の方に運転技術を習得してもらい「日本で唯一操縦できるD52」として全国へ発信する。
⑧ 運転講習会受講者数	同上

山北町総合戦略　基本目標1　令和5年度評価表

資料2

基本目標１ 山北町における安定した雇用を創出する		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
数値目標	商工会会員数	名	344	341	350	353	357	357	100%	商工観光課
	山北ブランドの認定	件	20	22	24	23	25	25	100%	商工観光課

基本的方向と主な施策

（１）工業の振興
（２）農林業の振興
（３）山北ブランドの推進
（４）土地の有効活用

重要業績指標（ＫＰＩ）

施策	指標項目	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
企業誘致の推進	町民の雇用者数（人）	26	24	30	35	33	30	110%	商工観光課
担い手（農業）の発掘	担い手数（人・団体）	3	0	8	8	11	6	183%	農林課
オリーブ栽培の促進	収穫量（kg）	43.2	4.3	0.0	30.9	14.0	300	5%	農林課
山北ブランドの認定及び普及推進	地酒売上本数（本）	9,252	8,833	8,450	11,088	11,314	11,500	98%	商工観光課

担当課の所見

（商工観光課）
　山北ブランドの認定件数は目標値に達したが、引き続き魅力的なブランド品の認定を行うとともに、既認定品の販路拡大に向けた支援に力を入れていく。

分析

	■	□	■	■
数値目標	◆評価80%以上：２	◆評価50%以上～80%未満：０	◆評価50%未満：０	◆評価なし：０
ＫＰＩ	◆評価80%以上：３	◆評価50%以上～80%未満：０	◆評価50%未満：１	◆評価なし：０

進捗状況の判断基準
目標値に対する割合

山北町総合戦略　基本目標2　令和5年度評価表

基本目標２ 山北町への新しいひとの流れをつくる		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
数値目標	転入者数	人	246	258	220	273	236	230	103%	定住対策課
	観光入込客数	千人	1,498	1,245	1,172	1,222	1,547	1,800	86%	商工観光課
	観光ボランティアガイド登録者数 （５ヶ年累計）	人	1	1	1	1	1	5	20%	商工観光課

基本的方向と主な施策

（１）定住総合対策の推進
（２）関係人口の創出・拡大
（３）若者の就学による山北町への定着の推進
（４）観光の振興
（５）観光ネットワーク化の推進
（６）観光情報の発信

重要業績指標（ＫＰＩ）

施策	指標項目	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
やまきた定住相談センターの運営	定住施策の問い合わせ件数（件）	255	268	345	621	409	280	146%	定住対策課
住まいづくり応援事業による支援	利用件数（件）	38	38	53	48	38	50	76%	定住対策課
お試し住宅の運営	利用率（%）	54	77	77	77	58	70	83%	定住対策課
やまきた定住協力隊活動の実施	空き家見学ツアーによる移住者数（５ヶ年累計）（人）	9	0	0	1	1	30	3%	定住対策課
空き家バンクの運営	空き家バンクの契約成立件数（件）	13	18	21	10	18	25	72%	定住対策課
東山北1000まちづくり基本計画に基づく住宅開発の促進	建築分譲戸数（戸）	6	18	18	20	16	10	160%	定住対策課
ふるさと応援寄付金の活用	体験メニュー数（件）	11	11	12	12	25	13	192%	商工観光課
高等学校の機能強化	参加者数（人）	921	313	254	657	804	100	804%	子ども教育課 教育特区推進室
外国人観光客向けの観光資源活用	外国人観光客宿泊者数（人）	2	2	0	0	0	200	0%	商工観光課
森林セラピー体験	年間体験人数（人）	154	104	27	27	38	300	13%	保険健康課
軌道敷の延伸	整備延長（５ヶ年累計）（m）	0	0	0	0	0	25	0%	都市整備課
運転講習会の開催	開催回数（回）	0	0	0	0	0	4	0%	商工観光課
運転講習会受講者数	受講者数（人）	0	0	0	0	0	10	0%	商工観光課
ハイキングコースの整備	整備箇所（５ヶ年累計）（ヶ所）	0	0	0	0	0	2	0%	商工観光課
拠点施設等の駐車場整備	整備箇所（５ヶ年累計）（ヶ所）	0	0	1	1	2	2	100%	商工観光課
遊歩道・観瀑台の整備	整備箇所（５ヶ年累計）（ヶ所）	0	0	0	1	1	1	100%	商工観光課
インターネットによる町の魅力発信	入込観光客数（千人）	1,498	1,245	1,172	1,222	1,547	1,800	86%	商工観光課
観光案内事業の強化	ＨＰアクセス件数（件）	227,286	370,373	326,068	196,077	194,191	250,000	78%	商工観光課

担当課の所見	（定住対策課） 転入者数 ・転出者数が転入者数を上回る状況が続いているが、令和以降はその差が僅少となる傾向が続いている。 やまきた定住相談センターの運営 ・定住施策の問い合わせ件数について、令和４年度は、みずかみテラスについての問い合わせ件数が増加したため大きく増えていたこともあり、令和５年度は令和４年度と比べると減少しているが、計画期間を通しては増加傾向となっている。 住まいづくり応援事業による支援 ・令和５年度は、令和４年度と比べると８割程度であった。令和２年度から令和４年度までは、ヒルズタウン丸山の住宅建築があったこともあり、利用件数が多くなっている。 お試し住宅の運営 ・令和５年度は、直前のキャンセルや契約週数の変更などにより利用率が低下した。 ・令和５年度の利用者からは移住に繋がっていない。 やまきた定住協力隊活動の実施 ・令和５年度の空き家見学ツアー参加者からは移住に繋がっていない。 （商工観光課） ・昨年５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより行動制限が無くなり、イベント等を全て実施することができたため、観光入込客数が増加したと思われる。
分析	数値目標　◆評価80%以上：２　◆評価50%以上～80%未満：０　◆評価50%未満：１　◆評価なし：０ ＫＰＩ　◆評価80%以上：８　◆評価50%以上～80%未満：３　◆評価50%未満：７　◆評価なし：０

進捗状況の判断基準
目標値に対する割合

山北町総合戦略　基本目標3　令和5年度評価表

基本目標３ 山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
数値目標	合計特殊出生率	率	1.12	0.75	－	－	－	1.0	－	保険健康課
	本町における子育て環境や支援の満足度（就学前　やや満足及び満足）	%	－	－	－	－	－	50	－	福祉課
	子育て支援センター年間利用人数	人	7,930	5,640	5,244	5,618	6,045	7,000	86%	福祉課

基本的方向と主な施策

（１）結婚や出産への支援

（２）子育て支援の充実

重要業績指標（ＫＰＩ）

施策	指標項目	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
民間婚活への支援	カップル成立率（%）	38	0	11	63	－	30	－	定住対策課
出産・子育て支援の充実	出産数（人）	32	32	23	32	23	42	55%	保険健康課
ファミリー・サポート・センター事業の充実	申込者数（人）	－	－	183	205	229	200	115%	福祉課
放課後児童クラブの充実	登録者数（人）	111	99	110	115	117	110	106%	こども教育課
放課後子ども教室の運営	開室日数（日）	－	－	25	38	42	45	93%	こども教育課

担当課の所見

（定住対策課）
民間婚活への支援
・令和５年度から婚活イベントを開催しないこととしたため実績はない。今後、民間で開催する場合には支援を検討していく。
（福祉課）
・子育て支援センターの利用者数は、新型コロナウイルス感染症予防対策として実施していた利用制限が撤廃されたことに伴い、令和4年度より引き続き前年度利用者数を上回る実績となった。
（保険健康課）
＜合計特殊出生率＞
・足柄上地区に産科が1か所しかなく、近隣市の分娩施設を利用せざるを得ない状況で距離的に遠い。このため、足柄上地区住民が安心して出産できるよう、足柄上病院での産科の再開を県に要請しているが、同病院と小田原市立病院の連携の中で、分娩は小田原市立病院の役割と位置づけられており、大変厳しい状況と言わざるを得ない。このため、妊婦タクシー助成等、子育て支援を拡充させており、更なる出産時の不安解消に努めていきたい。

分析

数値目標	◆評価80%以上：１	◆評価50%以上～80%未満：０	◆評価50%未満：０	◆評価なし：２
ＫＰＩ	◆評価80%以上：３	◆評価50%以上～80%未満：１	◆評価50%未満：０	◆評価なし：１

進捗状況の判断基準
目標値に対する割合

山北町総合戦略　基本目標4　令和5年度評価表

基本目標4 時代にあった山北町らしい地域をつくり、 安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する		単位	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
数値目標	自治会加入率	%	82	81	81	80	80	90	89%	地域防災課
	まちづくりに積極的に参加したい人 （座談会参加者数）	人	184	0	156	153	156	210	74%	地域防災課
	あんしんメールへの登録件数	件数	3, 490	2, 784	2, 821	2, 894	2, 920	3, 790	77%	地域防災課
	防災出前講座の実施	回	2	2	2	3	3	3	100%	地域防災課

基本的な方向と主な施策

（１）コミュニティ活動の活性化
（２）時代にあった公共施設運営
（３）スポーツ・健康まちづくり
（４）安全安心のまちづくり
（５）交通対策の充実

重要業績指標（ＫＰＩ）

施策	指標項目	実績値 令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標値 令和６年度	進捗状況	所管課
地域間交流活性化事業の推進	ボランティア参加者数（人）	0	0	0	0	0	50	0%	地域防災課
小さな拠点づくり（山北駅北側商業施設整備）	利用者数（人）	123, 610	100, 336	104, 915	96, 845	93, 072	132, 000	71%	定住対策課
生涯学習センターの充実	利用者数（人）	66, 163	30, 052	43, 332	57, 475	61, 071	72, 000	85%	生涯学習課
「未病を改善する」健康生活普及促進	保健指導実施人数（人）	762	86	23	142	364	1, 100	33%	保険健康課
自主防災リーダー等研修会の実施	研修会参加者数（人）	28	0	27	18	20	35	57%	地域防災課
あんしんメールの運用及び普及	あんしんメール登録者数（人）	3, 490	2, 784	2, 821	2, 894	2, 920	3, 790	77%	地域防災課
防災出前講座の実施	出前講座数（回）	2	2	2	3	3	3	100%	地域防災課
町内循環バスの運行	新規バス停数（５ヶ年累計）（ヶ所）	0	0	1	1	1	3	33%	企画総務課
高齢者の移動支援体制の整備	利用回数（５ヶ年累計）（回）	370	394	420	401	374	420	89%	福祉課
新たな交通手段の確保	計画数（５ヶ年累計）（計画）	0	0	0	0	1	1	100%	企画総務課

各課の所見

（地域防災課）
・あんしんメールへの登録件数については年々増加傾向にあるが、令和６年９月からLINEの運用を開始する予定であり、発信する情報も重複することから登録者数が今後伸び悩む可能性がある。
（定住対策課）
小さな拠点づくり（山北駅北側商業施設整備）
・令和５年度は、令和４年度と比較して４％程度減少しており、新型コロナウイルスの影響から回復に至っていないものと考えられる。

分析

	◆評価80%以上	◆評価50%以上～80%未満	◆評価50%未満	◆評価なし
数値目標	２	２	０	０
ＫＰＩ	４	３	３	０

進捗状況の判断基準
目標値に対する割合

基本目標　各項目の説明

資料2（別紙）

基本目標1　山北町における安定した雇用を創出する	
① 商工会会員数	第2期総合戦略策定当初は製造品出荷額等（4人以上事業者）を目標として設定していたが、令和4年度に町内での安定した雇用創出と考えると町内企業の関係団体である山北町商工会の関係数値が最も妥当であり、雇用先が増えれば雇用の創出につながるため、雇用先の数とも言える商工会の会員数に目標値を変更した。（目標値を達成）
② 山北ブランドの認定	新規認定2件 「ふる里茹で蕎麦」、「大野山の藍染グッズ」（目標値を達成）
③ 企業誘致の推進	町で企業誘致した丸山及び平山地区の企業における、町民の雇用者数（目標値を達成）
④ 担い手（農業）の発掘	経営農家の認定と育成（目標値を達成）
⑤ オリーブ栽培の促進	病害虫の被害により収穫量が激減した。
⑥ 山北ブランドの認定及び普及推進	地酒の売上本数(丹沢山)　目標値には達しなかったが、増加傾向。

基本目標2　山北町への新しいひとの流れをつくる	
⑦ 転入者数	令和5年度転入者実績（目標値を達成）
⑧ 観光入込客数	令和5年度観光入込客実績　新型コロナウイルスの影響が軽減
⑨ 観光ボランティアガイド登録者	令和5年度登録者数実績　増減なし
⑩ やまきた定住相談センターの運営	令和5年度電話応対数と移住セミナー等実施時の問い合わせ件数（目標値を達成）
⑪ 住まいづくり応援事業による支援	令和5年度新築祝い金、勤労者等住宅資金利子補助金、空き家活用助成金、結婚新生活支援補助金（令和5年度追加）の利用実績
⑫ お試し住宅の運営	令和5年度お試し住宅「ホタルの家」の年間利用率実績
⑬ やまきた定住協力隊活動の実施	空き家バンク登録物件の見学、移住者の体験談、地域体験等のツアーに参加され、山北町に移住された方の数
⑭ 空き家バンクの運営	令和5年度成約実績　貸家（アパート含む）2件（共同住宅）、貸家1件、売家11件、売地4件
⑮ 東山北1000まちづくり基本計画に基づく住宅開発の促進	令和5年度岸・向原地区の建築分譲戸数実績（目標値を達成）
⑯ ふるさと応援寄付金の活用	令和5年度ふるさと納税の返礼品として、体験メニューを考案した実績（目標値を達成）
⑰ 高等学校の機能強化	令和5年度町のイベントや地域の行事にボランティアとして参加した県立山北高校及び鹿島山北学園の生徒数実績（目標値を達成）
⑱ 外国人観光客向けの観光資源活用	令和5年度中川温泉旅館組合に加入している宿泊施設を利用した人数実績
⑲ 森林セラピー体験	令和5年度参加者数実績　コロナ禍による体験ツアー中止に伴う減少
⑳ 軌道敷の延伸	総合戦略先駆的事業4に記載のもの
㉑ 運転講習会の開催	総合戦略先駆的事業4に記載のもの
㉒ 運転講習会受講者数	総合戦略先駆的事業4に記載のもの
㉓ ハイキングコースの整備	2コースを整備する方向で検討中
㉔ 拠点施設等の駐車場整備	旧山北体育館（令和3年度）、箒沢駐車場（令和5年度）の整備を実施
㉕ 遊歩道・観瀑台の整備	総合戦略先駆的事業1に記載のもの
㉖ インターネットによる町の魅力発信	令和5年度入込観光客数実績　新型コロナウイルス5類移行に伴い増加
㉗ 観光案内事業の強化	令和5年度山北町観光協会HPのアクセス数実績

基本目標3　山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える	
㉘ 合計特殊出生率	人口の自然増減を図る指標。2より大きい数字で自然増、2未満で自然減。令和3、4、5年度の出生率は未公表のため、実績なし。
㉙ 本町における子育て環境や支援の満足度（やや満足及び満足）	子ども・子育て支援事業計画策定の基礎となるアンケート調査の結果。令和5年度にアンケート調査を実施予定であったが、令和6年度実施に変更となったため、実績なし。
㉚ 子育て支援センター年間利用人数	令和5年度利用者実績　新型コロナウイルス5類移行に伴い増加。
㉛ 民間婚活への支援	令和5年度やまきたLove婚におけるカップル成立率実績　令和5年度は開催していないため、実績なし。
㉜ 出産・子育て支援の充実	第2期総合戦略策定当初は出産や子育てにかかる経済的負担の軽減を設定していたが、施策と指標項目の関係が適切でなかったため、令和4年度に出産・子育て支援の充実に目標値を変更した。令和5年度出産数実績　妊産婦検診の補助、産後ケアとして助産師の訪問などを実施。　出産数減少。
㉝ ファミリー・サポート・センター事業の充実	令和5年度申込者数実績　（目標値を達成）
㉞ 放課後児童クラブの充実	令和5年度登録者数実績　（目標値を達成）
㉟ 放課後子ども教室の運営	令和5年度川村小学校の開室日数実績　目標値には達しなかったが、増加傾向。

基本目標4　時代にあった山北町らしい地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
㊱ 自治会加入率	令和5年度加入率実績　増減なし。
㊲ まちづくりに積極的に参加したい人（座談会参加者数）	令和5年度参加者数実績　前年度から微増。
㊳ あんしんメールへの登録件数	令和5年度登録件数実績　目標値には達しなかったが、増加傾向。
㊴ 防災出前講座の実施	令和5年度実施実績（目標値を達成）
㊵ 地域間交流活性化事業の推進	令和5年度地域団体の活動に参加した大学生や高校生等ボランティアの人数実績　5年間実績0。
㊶ 小さな拠点づくり（山北駅北側商業施設整備）	令和5年度駅前のコンビニ及びカフェの利用者数実績　減少傾向
㊷ 生涯学習センターの充実	令和5年度利用者数実績　目標値には達しなかったが、増加傾向。
㊸「未病を改善する」健康生活普及促進	令和5年度保険指導実施人数実績　新型コロナウイルス5類移行の影響により健康スポーツ大会、水中運動、ポールウォーキングなどの事業を開催　目標値には達しなかったが、増加。
㊹ 自主防災リーダー等研修会の実施	令和5年度研修会参加者数実績　目標値には達しなかったが、増加傾向。
㊺ あんしんメールの運用及び普及	令和5年度あんしんメールの登録者数実績　目標値には達しなかったが、増加傾向。
㊻ 防災出前講座の実施	令和5年度実施実績（目標値を達成）
㊼ 町内循環バスの運行	令和3年度に東山北駅に新規バス停を設置　令和4年度以降は、増減なし。
㊽ 高齢者の移動支援体制の整備	令和5年度利用回数実績　外出が困難な高齢者を支援する制度。　利用回数は減少傾向。
㊾ 新たな交通手段の確保	総合戦略先駆的事業2に記載のもの

資料３

第３期人口ビジョン・総合戦略策定スケジュール等について

（１）人口ビジョン策定

山北町における人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの。推計の実施にあたっては、総合計画策定時の推計も踏まえた検討を行う。

①人口等データ収集（７月）

定住人口の観点からの自然増減・社会増減だけでなく、関係人口の観点から人口移動の状況、雇用創出に関わる地域内消費税や地域住民消費額の推移などの取りまとめを行う。

→　株式会社サーベイリサーチセンターに国勢調査のデータ及び住基のデータを提供済み。

②人口動向分析（８月）

①で収集したデータをもとに、多角的な視点から人口の動向を分析する。

→　①のデータ収集は終了し、人口動向を分析中。

③人口推計（８月、９月）

国勢調査をもとに、出生死亡の影響・人口移動の影響を踏まえたシミュレーションを複数パターン行う。

併せて、住民基本台帳をもとにコーホートを用いた株式会社サーベイリサーチセンター独自の推計も実施し、今後の推移の影響を確認する。

④人口ビジョンの策定（９月、10 月、11 月）

①～③を踏まえ、山北町の将来の人口をどのあたりに設定するか、総合計画策定時の議論も踏まえ、2060 年、2065 年などを見据えた長期の人口ビジョンを策定する。

→　９月にたたき台を作成予定。たたき台に対し、地方創生推進会議及びまち・ひと・しごと創生推進会議で意見等をいただき、それを踏まえた数値の調整を行い、11 月策定予定。

ここで設定した人口を実現するために何を行うかを総合戦略に記載していく。

（２）総合戦略策定

地域の社会課題解決・魅力向上に向けたこれまでの総合戦略の取り組みに、さらにデジタルの力を活用して継承・発展させていく戦略の立案が必要。

①現行計画の検証（７月、８月）

検証シートを作成し、各課に配付、記入していただいた結果を取りまとめる。

→　先日、回答をいただきました総合戦略に対する KPI 及び所見のことです。回答結果は、株式会社サーベイリサーチセンターに提供済み。

②関係各課意見聴取（８月、９月）

現行計画の検証を行った後、新しい計画に記載する事項について、関係各課の意見を聴取する策定シートを作成し配付する。総合計画における該当部分の記載を基本としつつ、デジタルを活用する取り組みや、重点プロジェクトとして展開する取り組みの意向を把握する。

→　各課へ依頼中。

③関係団体等意見聴取（９月）

まち・ひと・しごと創生推進会議においては、関係団体の役割も大きいことから団体ヒアリングを行う。ただし、いずれも多忙な関係団体も多いことから、希望に応じ紙への記入、オンラインでの実施も可能。

→ **９月にまち・ひと・しごと創生推進会議の委員が所属する団体に対し、アンケート調査にてヒアリングを行う。別途、依頼予定。**

④総合戦略の策定（９月、10 月、11 月、12 月、１月、２月）

人口ビジョンで設定した人口を実現するために、関係人口の増加や地域経済循環を念頭に置きながら、デジタルを活用した取り組みを記載する。また、総合計画との連動性を高めるために、総合計画のどこの施策と関連するかを記載する。

→ 総合計画から記載できる部分は株式会社サーベイリサーチセンターで記載。

また、先駆的事業については、国の手引きや県の「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも設定していないことから第３期総合戦略では設定しない方向とする。

⑤会議運営（８月、１０月、１１月、２月）

地方創生推進会議については、８月に第１回（書面：今回の会議）、１０月上旬に第２回、２月上旬に第３回を開催予定。

まち・ひと・しごと創生推進会議については、８月２６日に第１回、１１月下旬に第２回、２月下旬に第３回を開催予定。

現在、各課に依頼している策定シートをもとに、たたき台を作成。たたき台について、第２回会議で出た意見を反映し、１月にパブリックコメントを実施予定。パブリックコメントで出た意見を反映し、第３回会議で承認を得て策定する。

⑥計画書データ作成（３月）

人口ビジョン及び総合戦略を一体とした計画書データを作成する。

（３）新たな取り組みについて（株式会社サーベイリサーチセンターの独自提案を含む）

・先駆的事業の廃止
・関係団体等意見聴取でアンケートを実施（９月）
・デジタル関係の追加

工程・スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（1）人口ビジョン策定									
①人口等データ収集									
②人口動向分析									
③人口推計									
④人口ビジョンの策定									
（2）総合戦略策定									
①現行計画の検証									
②関係各課意見聴取									
③関係団体等意見聴取									
④総合戦略策定									
⑤会議運営（随時）※		①		②				③	
		①			②			③	
⑥計画書データ作成									

※上段は地方創生推進会議、下段はまち・ひと・しごと創生推進会議